

## 競技審判上の注意

- 1 本大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- 2 登録変更期間は、令和4年2月9日（水）17時までとし、締切後の登録選手の変更は一切認めません。
- 3 審判構成は主審及び線審2名とし、主審は主管にて行いますが、線審は対戦チームにて行ってください。（線審は体育館シューズを着用）  
なお、決勝トーナメントの準決勝以降は、サービスジャッジ及び線審2名とし、原則として主管にて行いますが、対戦チームに線審の協力をお願いする場合があります。
- 4 色付き着衣を使用する場合は、公益財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とします。着衣上の背面、広告、ロゴなどの表示については大会運営規程24条を厳守してください。  
なお、背面については、所属クラブ名および都道府県を必ず明示してください。明示なき場合、失格となる場合もあります。（試合前に主審が確認します。）  
また、ゼッケンを使用する場合、四隅止めとしてください。
- 5 試合のコールは流し込み方式で行いますのでコールにご注意ください。また、試合の進行状況によっては、並行して試合を実施する場合があります。  
1日目のオーダー用紙の提出について、タイムテーブル1列目の試合は8時45分まで、タイムテーブル2列目の試合は10時00分までにオーダー用紙提出所へ提出してください。それ以降のオーダー用紙については、1時間間隔（11時00分、12時00分）を目安か、試合終了後すみやかに提出してください。  
また、2日目のオーダー用紙の提出については、タイムテーブル1列目の試合は8時00分までに提出してください。それ以降の試合は、すみやかにオーダー用紙を提出してください。試合が連続となる場合、10分以上の間隔を設けます。
- 6 試合のコールがありましたら、選手の方は直接コートへ集合してください。  
試合のコール後、10分経過してもオーダー用紙に書かれた選手の確認ができなかった時は、レフェリーの判断により「棄権」とみなす場合があります。
- 7 練習時間については、団体戦の各試合前（マッチごと）に2分間設けます。各コートの主審による時間計測の指示に従ってください。それ以外の練習は認めません。
- 8 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。容器については、スクイズボトル等のキャップ（フタ）付きのボトル類（倒れてもこぼれない容器）を使用し、各自のバッグに入れてください。  
なお、競技区域内への持ち込みはクーラーバッグのみとし、試合中の氷嚢の使用については、インターバルのときのみ認めます。
- 9 シャトルの交換については、主審が必要かどうかを決定します。また、使用シャトルのスピードについては、レフェリーが決定します。
- 10 汗を手で拭い、コート内外（競技区域）に投げ落とす行為については不品行な振る舞いに相当するものとみなします。（競技規則第16条第6項（4））
- 11 試合中のケガや病気については、主審の判断によってレフェリー（競技役員長）またはデピュティレフェリー（競技審判部長）を呼び、レフェリー（競技役員長）またはデピュティレフェリー（競技審判部長）が医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。

- 12 携帯電話は試合中電源を OFF にしてください。警告、フォルトの対象になります。(競技規則第 16 条第 6 項の 4)  
また、モバイル機器(タブレット等)を使用しての試合中のアドバイス、コーチングは禁止します。
  - 13 コーチングシートでの服装については、監督・選手を問わず公認審判員規程第 2 条第 12 項(2)を適用します。
  - 14 競技規則で定められたインターバル時に、競技区域に入れるのは同時に 2 名までとします。
  - 15 リーグ戦での順位の決定は以下の通りとします。
    - (1) 勝ち数の多い方を上位とする。
    - (2) (1)が同じ場合、全試合の得失マッチ差の大きい方を上位とする。
    - (3) (2)が同じ場合、全試合の得失ゲーム差の大きい方を上位とする。
    - (4) (3)が同じ場合、全試合の得失ポイント差大きい方を上位とする。
    - (5) (4)まで同じで、2 チームが並んだ場合、直接対決の勝者を上位とする。
    - (6) (4)まで同じで、3 チーム以上が並んだ場合、抽選により順位を決定する。
- ※ 順位決定において、棄権をした場合は、「21-0・21-0」による負けと同じ扱いとします。
- ※ いかなる場合も順位決定のための再試合は行いません。

## その他の注意事項

- 1 競技場(アリーナフロア)内での飲食は禁止です。(水分補給のみ可)
- 2 所持品(貴重品)の管理は、各自で責任をもって行ってください。
- 3 喫煙は所定の場所をお願いします。
- 4 ゴミはすべて各自で持ち帰り、処分してください。
- 5 競技シューズと外履きシューズの区別を必ず行ってください。
- 6 カメラ・ビデオ機器類(同様の機能を有する携帯端末等を含む)による撮影について、競技フロアでは一切禁止とします。会場観覧席で撮影する際には以下のことに注意してください。
  - ・フラッシュ等の使用は禁止です。
  - ・会場内のコンセント等は使用禁止です。
  - ・他の観客・選手の妨げとならないよう注意してください。特に三脚の使用には注意してください。
- 7 競技中の事故(ケガや病気等)は、主管にて応急処置のみ行いますが、その後の処置について各自あるいはチーム等で対応してください。  
なお、参加者全員、大会用傷害保険に加入していますので、処置後すみやかに大会本部へ連絡をお願いします。
- 8 ロビー、エレベーターでは、遊ばないようにしてください。
- 9 トイレの洗面所には氷を捨てないでください。
- 10 観客席前・通路前にクラブ旗などを取り付ける場合は、テープで貼り付けずに、必ず紐で取り付けください。
- 11 大会運営規程により、原則として第 1 位~第 3 位までの表彰については競技終了後行います。
- 12 コロナ対策のため、窓・ドアを常時開けている箇所がありますのでご理解ください。